

平成23年度

湯梨浜町教育行政の点検及び評価

平成24年6月

湯梨浜町教育委員会

目 次

はじめに	2
平成23年度湯梨浜町教育委員会の主要施策	3
教育委員会議及び教育委員の活動	29

はじめに

教育委員会の事務の点検・評価制度の導入について

湯梨浜町教育委員会は、まちづくりのテーマである『げんき・いきいき・かがやきのまちづくり』を目指して、人格の完成という普遍的な教育目標と「21世紀、夢がふくらみ一人ひとりが輝くまちづくり」の実現に向けて、住民を主役とした生涯学習の推進と学校教育の充実の向上に努めているところです。

さて、平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正（平成20年4月1日施行）されました。

この改正では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、教育委員会が所掌する事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務付けられました。

湯梨浜町教育委員会は改正の趣旨に即し、平成23年度の事務事業について「教育委員会事務の自己点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(平成19年6月27日一部改正)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成23年度湯梨浜町教育委員会の主要施策

湯梨浜町教育委員会では、別紙の組織に基づき多様な事業を展開しておりますが、自己点検・評価の対象事業は、平成23年度の教育委員会の権限に属する事務のうち、主要な事業を抽出し、担当課(教育総務課、生涯学習・人権推進課)で目指すところ、施策の自己評価、H23成果、H23課題及びH24対応方針について主要事業シートを作成し、事務の管理・執行状況について自己点検・評価を行いました。

この主要施策の点検・評価では、重要な教育課題である学力向上対策、不登校の問題、中学校のあり方、家庭教育の充実及び人権教育の推進などへの対応と、町民に説明責任を果たす必要がある予算執行を伴う施策を中心に、次に掲げる主要な18項目を取り上げ、施策レベルでの点検・評価を行い、今後に向けた課題についても検討を行いました。

【自己点検・評価の流れ】

- ① 毎年教育委員会としての重点施策を策定 (毎年3月まで)
- ↓
- ② 事務局(教育総務課、生涯学習・人権推進課)による自己評価
- ↓
- ③ ②の自己評価を教育委員会に諮り、意見を伺う
- ↓
- ④ 教育委員会において、議会に報告する報告書を提出し承認を得る
- ↓
- ⑤ 報告書を町議会に提出し、報告する (毎年6月定例町議会)
- ↓
- ⑥ ホームページ等で町民に公表する

※到達度について

目指すところへの到達状況を、今までの取組により得られた成果を踏まえて自己評価を行う。

到達度	各施策の目指すところについて
A	目的・目標を達成した
B	ほぼ計画(予定)どおりに実施した
C	取組みは進めたが、成果が出ていない
D	取組むことができなかった

平成23年度湯梨浜町教育委員会点検・評価の主要事業一覧

1. 基礎基本を重視した確かな学力の育成
2. 豊かな人間性と社会性の育成
3. 心身の健康増進
4. 特別支援教育
5. 中学校のあり方を検討
6. 地域との連携、保幼小連携・小中連携、町PTA連合会との連携
7. 青少年育成湯梨浜町民会議
8. 通学合宿事業
9. 文化財保護啓発事業
10. 町民の学習ニーズに応える学習の設定、事業の実施
11. 地域の人材を公民館事業へ積極的に活用
12. 青少年事業の展開と充実
13. 交流、学習の場として気軽に、楽しく集える公民館管理運営
14. 生涯学習の拠点施設として学習環境の充実
15. 湯梨浜町体育協会事業
16. 東郷運動公園指定管理事業
17. 湯梨浜町スポーツ推進委員連絡協議会事業
18. あらゆる差別の撤廃と人間性を育む人権・同和教育事業

※平成23年度の教育委員会の権限に属する事務のうち、主要な事業を抽出し、担当課（教育総務課1～6、生涯学習・人権推進課7～18）ごとに自己評価を実施。

1. 基礎基本を重視した確かな学力の育成

<p>目指すところ</p>	<p>「学習形態や内容を工夫することで意欲を持って授業に臨ませること」、「基礎基本の習熟徹底を図り、分かる喜び・できる楽しさを感じさせること」、「困り感のある子に寄り添った指導をしていくこと」を目指す。</p>	
<p>施策の自己評価</p>	<p>①全国学力・学習状況調査の活用</p>	<p>B</p>
	<p>②標準学力検査の活用</p>	<p>A</p>
	<p>③全学年対象少人数学級の実施</p>	<p>A</p>
	<p>④児童生徒の実態に即した習熟度別少人数指導の実施</p>	<p>A</p>
	<p>⑤授業改善に向けた授業研究会の実施</p>	<p>A</p>
	<p>⑥町学力向上委員会の開催</p>	<p>A</p>
	<p>⑦エキスパート教員活用</p>	<p>A</p>
	<p>⑧放課後学習の実施</p>	<p>A</p>
	<p>⑨サマースクールの実施</p>	<p>B</p>
	<p>⑩町教育講演会の実施</p>	<p>A</p>
	<p>⑪家庭啓発用チラシの作成、配布</p>	<p>C</p>
<p>H 23 成果</p>	<p>①町の傾向をまとめたものを示した。 ②町内すべての小・中学校が同一の検査を使用することになり、分析・活用がより客観的になった。 ③羽合小 2 年、泊小 2 年で 30 人学級、羽合小 5 年、泊小 4・6 年、東郷小 6 年で 33 人学級、北溟中 1 年で 33 人学級の少人数学級を実施し、各児童生徒の生活や学習の実態をきめ細かく把握することで理解が深まり、特に 1 年生については学校生活に慣れる上で大変有効であった。 ④羽合小 4～6 年、泊小 2～3 年、東郷小 4～5 年の算数、北溟中 1～2 年英語・3 年数学、東郷中 2～3 年の数学・英語で少人数指導を実施し、いずれの学校においても単元等に応じて習熟度別指導を実施するなどの工夫を行った。 ⑤各校の研究テーマに沿った県内外講師を招いて授業研究会を実施した。(各校 2 回) ⑥7・1月に 2 回開催し、具体的な数値等を取り上げ、町の学力実態について共通理解が深まり、共通実践することを協議した。 ⑦エキスパート教員の授業研究会を実施した他、初任者研修で授業公開や講義で指導的役割を果たしてもらった。</p>	

	<p>⑧羽合小 14 名、泊小 11 名、東郷小 5 名、北溟中 137 名、東郷中 173 名の参加児童生徒があり、実施 2 年目となり定着してきた。</p> <p>⑩312 名の参加があり、参加者の満足度は高く、来年度以降の継続につなげることができた。</p>
H 23 課題	<p>①大震災の影響で学力検査は実施されず、学習状況調査のみの実施となった。</p> <p>⑨羽合小 6 年 100%、北溟中 3 年 50%、東郷中 1・3 年 90%、2 年 75% の児童生徒の参加があり、実施 2 年目となり定着してきたが、残り 2 校の実施が課題である。</p> <p>⑪「湯梨浜町子育て親育ち6か条」を町内全戸に配布したが、作成が遅れ、配布時期がずれ込んでしまった。</p>
H24 対応方針	<p>①②町全体の学力の傾向の分析にとどまらず、有効な手立てを研究主任会で研究する。</p> <p>③④⑤県の「少人数学級を活かす学びと指導の創造事業」と連携した校内授業研究会を北溟中学校区で開催し、東郷中学校区の参加も得て授業改善に努める。</p> <p>⑥研究主任を対象とした学力向上を推進するための委員会を実施(2回)し、授業改善を図る。</p> <p>⑧⑨放課後学習・サマースクール支援事業を実施し、学力向上を図る。</p> <p>⑩健康推進課・子育て支援課と連携した食育・教育講演会を実施する。</p> <p>⑪「湯梨浜町子育て親育ち6か条」の普及・啓発・浸透を図る。</p>

2. 豊かな人間性と社会性の育成

目指すところ	「0歳から15歳までの見通しを持った教育の構築」、「コミュニケーションスキルの習得」、「体験活動を通して自分らしさの発見」を目指す。	
施策の自己評価	①小学校の図書システムの導入	A
	②町主催行事への参加	A
	③各課イベント、各種行事への参加	A
	④町版「全体の約束・ルール」づくり	B
	⑤外部講師による「赤ちゃん登校日」「命を大切にする学習」等の実施	A
	⑥CSS（学級ソーシャルスキル）の授業研究会の実施	C
	⑦道徳教育における各学校、各学年の重点価値項目の指導の実施	A
	⑧町費によるQU（学級生活満足度）調査の実施と活用	B
	⑨学級経営力の向上に視点をあてた授業研究会の実施	A
	⑩アロハフレンドシップの活動	A
	⑪ハワイアンフェスティバル事業	A
	⑫安岡寺小学校との交流	A
	⑬松野迅コンサート鑑賞	A
	⑭子ども議会の協力（中学校）	D
	⑮ジュニアグランドゴルフの参加・上位入賞	A
	⑯キャリア教育の充実	B
	⑰人権教育主任者会の開催	C
H23成果	<p>①町内全小・中学校で図書システムの整備を完了することができた。</p> <p>②③2月に各校に次年度の行事一覧を示し、トライアスロン大会に中学生91名がボランティアに参加するなど、小中学生が積極的に町行事に参加した。</p> <p>⑤「赤ちゃん登校日」は羽合小のみの実施であったが、5学年が取り組み教育効果を上げている。命を大切にする授業については、各校とも講師を招いて積極的に実施した。</p> <p>⑦各校で児童生徒の実態に合わせて重点項目を設定し実施した。</p> <p>⑨羽合小では特別活動、東郷中では協同学習を研究の柱として推進し人間関係づくりに努めている。</p> <p>⑩15名の生徒がハワイ州へ行き(企画課主催)充実した研修となった。事業も定着してきている。</p> <p>⑪泊小の児童全員が参加しよい交流となり、国際理解につながった。(産</p>	

	<p>業振興課主催)</p> <p>⑫東郷小学校3年生が、梨作りを通しての交流を行った。</p> <p>⑬実行委員会が中心となって企画・運営され、本物の芸術に親しむ機会を得て充実した事業となった。</p> <p>⑮3小学校が参加し、東郷小チームが3位に入賞した。</p>
H 23 課 題	<p>④「湯梨浜町子育て親育ち6か条」を町内全戸に配布したが、作成が遅れ配布時期がずれ込み浸透させることができなかったため、啓発し活用してもらう取り組みが必要である。</p> <p>⑥東郷中学校区で取り組み、東郷小学校が県の研究大会で実践を発表したが、児童生徒の人間関係への浸透は今一歩である。</p> <p>⑧町内各小学校で実施したが、その結果を集約することができなかったため結果を活用して学級経営や授業改革に活かしてもらう取り組みが必要である。</p> <p>⑭取り組みの遅れから各中学校と日程を調整することが難しく実施することができなかった。</p> <p>⑯小学校でのキャリア教育を意識した計画の設定が課題である。</p> <p>⑰2回予定していたが、1回しか実施することができなかった。</p>
H24 対応方針	<p>②③⑤⑩⑪⑫⑬⑭⑮</p> <p>学校の負担を考慮した見通しのもてる年間行事の策定及び効果的な体験活動の実施を図る。</p> <p>④⑯</p> <p>15年間で育てる教育の構築のための家庭啓発資料「湯梨浜町子育て・親育ち6か条」の普及を図る。</p> <p>⑥⑦⑧⑨</p> <p>学級経営力の向上に視点をあてた「子どもたちの社会性を育む事業」を東郷中学校区で実施し、その成果を北浜中学校区にも浸透させる。</p> <p>⑰効果的な人権教育主任会を開催する。 ※①は完了</p>

3. 心身の健康増進

目指すところ	「自分のよさを知り自信を持つ」、「健康安全に対する知識技能を持ち実践する」、「心身を鍛えようと実践する」を目指す。	
施策の自己評価	①各中学校区によるノーテレビデーの推進（ゆりはま家族の日）	B
	②個別事例の関係者会議の実施	B
	③不登校対策委員会における事例研究会の充実	B
	④スクールカウンセラー・教育相談員の活用	A
	⑤鳥取県中部子ども支援センターとの連携	A
	⑥学校給食週間行事の充実（招待給食の実施）	B
	⑦新体力テストの活用	B
H23 成果	④両中学校のスクールカウンセラー・教育相談員とも積極的に関わっていただき、不登校から学校復帰を果たす児童生徒もあった。 ⑤中学3年1名が通級をし、希望高へ進学することができたほか、所長及び職員の課程訪問・電話相談で深く関わってもらった。また、9月には教育委員の視察訪問を実施し、実態を把握していただいた。	
H23 課題	①各校で実施しているが、町全体または中学校区単位の運動というレベルに達しなかった。 ②各校で随時実施しているが、学校外の関係者との連携が不十分な面があった。 ③計4回実施したが、具体的な改善・協議にまでいかなかった。 ⑦全国学力・学習状況調査と連動した体力テストの分析・活用が必要である。	
H24 対応方針	①テレビの視聴時間が長いという課題を克服するため、保幼小中で一緒になったノーテレビデーの取組みを保護者と一体となった運動にまで高める。 ②③指導主事が実態把握に努め、各校の課題を各学期末の不登校対策委員会で協議する。 ④⑤今年度新規に配置された「こどもと親の相談員」と連携して、さらに効果的な取組みに努める。 ⑥栄養教諭が中心となって食育をより一層推進する給食週間とする。 ⑦体育主任者会で課題を明らかにし、具体的な施策を検討する。	

4. 特別支援教育

目指すところ	一人ひとりの実態を十分に把握してそれぞれの特性に応じた支援に、家庭・保幼小中・地域社会が連携をとりながら早期から取り組むことで自立に必要な「生きる力」を身につけさせることを目指す。	
施策の自己評価	①特別支援学級経営及び効果的な教育課程の作成・実施	B
	②学校体制での特別支援教育の充実	B
	③校内就学指導委員会・個別の支援会議の効果的な実施	A
	④特別支援教育コーディネーターを中心とした保幼小中の連携強化	B
	⑤町就学指導連絡会と保幼小連絡会の効果的な実施・運営	A
	⑥特別支援教育主任者会の実施	B
	⑦保護者の特別支援教育の理解を目指した研修会の実施	C
	⑧児童生徒支援職員の配置	A
	⑨「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成	B
H 23 成果	<p>③就学指導に向けての校内会議の充実は各校で図れた。支援会議には指導主事も出席し積極的に助言した。</p> <p>⑤保幼小中連絡会で情報交換をすることができた。就学指導連絡会も計画的に開催した。</p> <p>⑥2回実施した。</p> <p>⑧小学校に配置した。</p> <p>⑨教育支援計画は入級の子に作成、個別の指導計画についても個別の支援が必要な子については作成するよう指導した。</p>	
H 23 課題	<p>①個の実態をとらえた教育過程や学級経営の充実を図る必要がある。</p> <p>②特別支援教育に関わる職員研修や理解の場の時間の取り方が学校によって様々であり、それに対する指導が必要である。</p> <p>④学校間で連携の仕方に差があったので、必要なことはすべての学校で実施していく必要がある。</p> <p>⑥教育委員会サイドと各校の先生方のニーズと併せた会の開催が必要である。</p> <p>⑦計画的な実施が望まれる。</p>	

	<p>⑨特別支援学級の児童生徒については整えられているが、通常学級における支援を要する児童生徒の「個別の指導計画」「個別の支援計画」の作成について検討が必要である。</p>
H24 対応方針	<p>①学級の実情を把握して具体的な支援や指導をする。</p> <p>②③④⑤⑦校長会や主任の会で、共通理解しながら充実させていく。</p> <p>⑥会の持ち方についても検討しながら進める。</p> <p>⑧小中全てに配置する。</p> <p>⑨本年度は活用についての指導をする。</p>

5. 中学校のあり方を検討

目指すところ	子どもたちにとって何が一番大切なのかを基本に、将来の中学校のあり方について集約し意見書を町長に提出する。	
施策の自己評価	年度内に検討委員会としての意見集約	A
H 23 成果	<p>【第6回（11／19）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり懇談会の概要について報告 ○5つの統合形態について整備内容、事業費等について説明 <p>【第7回（12／20）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各委員からの質問、要望事項について <p>これまで委員会で決まったこと、これから委員会で決めなければならないことも地域別の世帯数と中学の生徒数について、現状と10年後の推計など各委員から出された11の質問、協議事項について回答、協議</p> <p>【第8回（1／30）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○耐震補強工事と耐用年数について整理 ○学校を建設する際の校地環境、周辺環境、通学環境について協議 <p>【第9回（2／28）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最終として『新しい校舎並びに付属施設を建設する』との意見集約 <p>当初の目標どおり年度内に意見書を集約し、3／27に、委員長から町長に『新しい校舎並びに付属施設を建設する』との最終の意見書を提出することができた。</p>	
H 23 課題	<ul style="list-style-type: none"> ○委員会では建物は新設するまでの意見集約できたが、具体的な建設場所については集約しなかったため、平成24年度では具体的な建設場所を決定する必要がある。 ○統合に向けて十分な住民の合意形成を図るための住民説明会を開催するに当たり、より多くの住民が参加できるような工夫をする必要がある。 	
H24 対応方針	建設場所、統合の形態について町の方針を決定し、議会との調整協議のうえ、住民説明会を開催して住民の合意形成を図り最終決定し基本設計へと進めていく。	

6. 地域との連携、保幼小連携・小中連携、町PTA連合会との連携

目指すところ	地域に開かれた学校、0歳から15歳の保幼小中の一貫性のある保育・教育の推進のため、家庭・地域、他校種との連携強化に努める。	
施策の自己評価	①学校環境整備に係る学校支援活動	A
	②安全ボランティアによる登下校時の安全確保	A
	③湯梨浜町学校関係者評価委員研修会の実施	A
	④学校支援ボランティア事業の実施	A
	⑤「教育を考える会」の開催	A
	⑥湯梨浜町学校公開（年2回）	A
	⑦子育て支援課と合同で行う研修会	A
	⑧所長・園長会での共通理解と実践	A
	⑨15年間で進路を保障する教育計画の作成	B
	⑩幼児と児童の交流活動の推進とカリキュラムの共有化、指導者相互の交流	A
	⑪保幼小連絡会を核とした就学への円滑な接続プログラムの作成	A
	⑫町教育講演会の開催	A
H23 成果	<p>①県の学校支援ボランティア事業によりボランティアルームや必要な設備・備品を設置することができた。</p> <p>②小学校で毎日登下校見守りをいただいている5名の方にボランティア登録をいただいた。</p> <p>③昨年度から2回目の実施となり、学校評価及び関係者評価が次年度の取り組みに活かされるようになった。</p> <p>④前年度から実施している北溟中学校がモデルとなり、コーディネーターを中心としたボランティア活動の裾野が広がり、5校合計で78名がボランティア活動を行った。</p> <p>⑤昨年度から2回目の実施となったが、ねらい・協議内容・時期等を精査する必要がある。</p> <p>⑥計画通り年2回(各2日)実施したが、町内一斉実施では日程調整が難しい面があった。</p> <p>⑦保幼の職員に対して小学校との接続を意識した保育教育についての研修会を実施した。</p> <p>⑧園長所長会で教育長や指導主事の講義や研究協議を実施した。</p>	

	<p>⑩小学校で保育所との交流、中学校で保育体験活学習を実施した。 また、保幼小、小中の職員が交流する機会も増加した。</p> <p>⑪就学前教育実践事例集を作成し、保幼の全職員に配布した。</p> <p>⑫3回目の実施となり、講演内容に対しても参加者から好評であり、町の行事として定着してきた。</p>
H 23 課 題	<p>⑨それぞれには作成できているが、それをつなげることが必要である。</p>
H24 対応方針	<p>②④学校支援ボランティアの定着・拡大を図る。</p> <p>⑤学校の意見を反映し、ねらいを明確にした、家庭・地域との関わりが深まる会の企画・運営を図る。</p> <p>⑥春季は一斉公開(2日)、秋季は各校の日程(1日以上)による学校公開を実施する。</p> <p>⑦職員のニーズに合った研修会の実施する。</p> <p>⑨湯梨浜町教育振興計画に合わせて作成する。</p> <p>⑫PTA連合会、健康推進課・子育て支援課との共催による食育・教育講演会を実施する。</p>

7. 青少年育成湯梨浜町民会議

目指すところ	町民と共働して青少年の健全な育成を図るため、各事業実施機関との連絡調整を行い、その施策を推進する。	
施策の自己評価	①会員研修	A
	②子どもの研修・育成事業	B
	③補導の実施	A
H 23 成果	<p>①会員研修を持つことにより町内青少年の健全な育成に対する理解を深めることができた。</p> <p>②子ども会リーダー研修会を開催し心身の鍛錬をすることができた。</p> <p>①②湯梨浜ナイトハイク・乗馬体験や家庭の日絵画作品募集を実施することにより親と子の話し合いの時間を設定することができ、健全な家庭生活の一助となった。</p> <p>③</p> <p>◇水郷祭 7/31 (土) とまり夏祭りにおいて補導活動を実施したことにより青少年の健全育成に資することができた。</p> <p>◇あいさつ運動等を通じ人間関係を築くきっかけづくりに資することができた。</p>	
H 23 課題	<p>①②</p> <p>◇委員の個人的負担が大きい。</p> <p>◇活動をもっとPRし、多くの人に関わってもらおう。</p> <p>②</p> <p>◇各行事の参加数が減少傾向にある。</p> <p>◇家庭教育に力を入れていく必要がある。</p>	
H24 対応方針	<p>①保護者研修会に研修部の研修を取り入れる。</p> <p>①②各事業では、委員の協力時間を設定することで多数の委員の事業参加を促し、少数の委員の個人的負担を避ける。(各委員の事業協力タイムテーブルを設定する等)</p> <p>②③PTA 総会等で活動をPRする。</p> <p>①～③</p> <p>各保育所、幼稚園、はわいこども園のPTA代表に委員を依頼する。</p>	

8. 通学合宿事業

目指すところ	<p>集団活動の体験や、保護者から離れた日常生活の体験活動などとおして子どもたちの自立心や社会性を育む。</p>	
施策の自己評価	通学合宿の実施	B
H 23 成果	<p>○集団活動とおして仲間同士協力し合うことの大切さ、我慢することなどを学び、自主性・協調性を培うことができた。</p> <p>○家族と離れて生活することで家族の大切さを改めて感じる事ができた。</p>	
H 23 課題	<p>○スポ少や塾などは不参加とすることを条件としているためか、近年、参加者が減少傾向にある。特に男子児童の参加者が少ない。</p>	
H24 対応方針	<p>○実施時期を検討するようにとの声もあるが、年間とおしてスポ少の練習・試合等があり、また、学校行事などの関係もあるため時期を変更することは難しいと思われる。</p> <p>○実施期間を一週間から 3 泊 4 日に変更することでメリハリがあり、充実した活動にする。</p> <p>○活動内容には、仲間づくりをねらいとしたレクリエーションを取り入れ、子どもの交流の輪を広げるようにする。</p> <p>○スタッフ間で指導方針を共通理解することで、各人で異なった関わりを防ぐ。</p> <p>○食事では、子どもの自主性を尊重し、できるだけ自分達で作ることができたという達成感を感じさせるようにする。</p>	

9. 文化財保護啓発事業

目指すところ	ふるさとの文化財に親しむことで、郷土に対する理解と愛着を育成する。また、住民の関心を一歩高めるための研修機会を設ける。	
施策の自己評価	①文化財見学会の実施	A
	②文化財講演会の実施	A
	③出前講座の実施	A
	④文化財解説ボランティア解説委員研修会の実施	C
H 23 成果	<p>①町内をめぐり「文化財見学会」を3回実施(参加延数56名)及び他市町を訪ねる「ふるさと再発見 湯梨浜学講座」を2回実施(参加延数45名)し見聞を広めるとともに深めることができた。</p> <p>②湯梨浜町歴史講演会として講師に東京大学史料編纂所 助教 西田友広氏を招き「下地中分絵図の世界」(参加58人)を開催し東郷庄絵図及び湯梨浜町の歴史を学ぶことができた。</p> <p>③羽合、泊歴史民俗資料館にて町内小学生の館内解説を実施することにより、地域の歴史について伝承することが図られた。</p> <p>④湯梨浜町文化財解説ボランティアガイド研修会(参加13名)として講師に妻木晩田遺跡ボランティアガイドの会 会長 木村定雄氏を招き開催。町文化財についてのガイドのノウハウを学ぶことができた。</p>	
H 23 課題	<p>①</p> <p>◇集落単位で地元の方に解説を受けながらその土地の文化を歩いてめぐり「文化財見学会」について、年々訪問地の「語り部」が少なくなっていること。</p> <p>◇文化財見学会の参加者が一部固定化されてしまっていること。</p> <p>④文化財解説ボランティアガイドの立ち上げに際して、ガイドの心得や規則、解説マニュアルの作成等、事前に整備すべき事項が多くあること。</p>	
H24 対応方針	<p>①文化財見学会により多くの年代の方々に参加をいただくため、日・祝日の開催も考慮し、また内容についても、努めて専門的な傾向に偏らないよう計画する。</p> <p>④文化財解説ボランティアガイドの立ち上げについて、ゆりはま塾、湯梨浜町観光協会等との連携をとりながら実施する。</p>	

10. 町民の学習ニーズに応える学習の設定、事業の実施

目指すところ	公民館事業に対する住民満足度のアップを図る。	
施策の自己評価	①各種サークルの学習成果の発表機会の提供	A
	②高齢者生きがい事業の展開	A
	③各種講座の開催	B
H23 成果	<p>①住民作品展、湯梨浜芸能大会 住民作品展は、3館合同一箇所開催を実施し、概ね好評を得た。芸能大会については例年通りの出演者数、観客数であった。</p> <p>②湯梨浜文化大学 湯梨浜文化大学も色々なジャンルの課題について楽しく学習を行い、有意義な事業展開となった。 全体学習10回 延べ参加者1,029人、趣味コース16コース 延べ参加者1,374人。実施内容については学生さんの評価は良好であった。</p> <p>③パソコン教室、一般教養講座、趣味講座 開催講座によっては人数制限もあるが、参加された方は和やかな雰囲気の中で、お互い協力し合い事業に取り組むことができた。</p>	
H23 課題	<p>①恒例の事業である住民作品展、湯梨浜芸能大会については概ね好評を得たと思う。特に初めて3館合同一箇所開催した作品展については当面この方向で実施したい。</p> <p>③各種講座の開設については、場当たりのなところもあり、いかに事業開催を住民の方へ周知するのか各種の広報媒体を積極的に活用することが必要である。さらに、さくら工芸品工房との連携事業をもう少し増やしてみることも検討の余地がある。</p>	
H24 対応方針	<p>③各種講座の開催にあたり、特に一般教養講座、趣味講座については実施目的を明確にし、3館で連携を密にし実施することとする。実施後は住民満足度をチェックするため更にアンケート調査を実施し事業効果を確認する。</p> <p>①～③ 広報媒体の積極的な活用を実施する。ホームページの更新、T C Cへの情報提供、町報の充実など情報発信に努める。</p>	

11. 地域の人材を公民館事業へ積極的に活用

目指すところ	公民館事業、特に文化大学趣味コース、一般振興事業趣味講座への地域人材の活用を図る	
施策の自己評価	町内及び近隣自治体の地域の人材活用	B
H23 成果	<p>文化大学趣味16コースの講師については、地元を中心に、一部近隣自治体で活動されている方をお願いをし、順調に事業実施できた。一般振興の趣味講座においては、伝承・薬膳料理教室、エコバック作り、パステルアート、和紙灯り講座、草木染め、陶芸・ガラス工芸、テーブルマジック、各種スポーツ無料体験など、さくら工芸品工房や地域の方に指導をいただきながら事業を実施した。参加された方からは概ね好評を得たが、趣味講座において全体的に参加者数が少なかったことが懸念材料である。</p> <p>趣味講座人材活用状況(町内8人、町外2人)</p>	
H23 課題	<p>趣味講座において、講座の内容によっては受講人数に制限が生じるものもあるが、あれもこれもと欲張りすぎたのではないか。参加者数が少なかったことについては、やはり公民館事業について最新の情報発信が不可欠と感じた。地区公民館と共催で取り組んだ事業もあったが、この取組みを増やすことと、地区公民館への情報提供も積極的に行う必要がある。</p>	
H24 対応方針	<p>○広報媒体の積極的な活用を実施する。ホームページの更新、T C Cへの情報提供、町報の充実など情報発信に努める。</p> <p>○中央公民館と地区公民館の連携強化に努める。</p> <p>お互いの持っている情報を共有し、各地域に眠っている貴重な人材の発掘と活用に資するため、町公民館連絡協議会(館長・主事会)、主事会を積極的に開催する。</p>	

12. 青少年事業の展開と充実

目指すところ	これからの湯梨浜町を担う青少年の育成事業の推進。	
施策の自己評価	①子どもの居場所づくり・放課後子ども教室の実施	A
	②体験学習の実施	B
	③人形劇等公演事業の実施	A
H23 成果	放課後子ども教室推進事業(舎人、東郷、花見、大介、泊、長瀬の6箇所にて実施)については、順調に展開されている。羽合地域では、地区公民館で週末支援事業の延長として土曜日に公民館を開放し事業を継続している。またとまり文化少年団を中心とした地域の大人の協力のもと体験学習、歴史学習等が開催されている。中央公民館の人形劇等の公演事業も3館で実施し、好評を得ている。	
H23 課題	地域の大人、ボランティアの協力のもと安心、安全な子どもの居場所づくり、体験活動等を通して地域とのふれあいを図る青少年の育成事業について、もう少しボランティア活動に参加をしていただける方が増えればと感じます。 また、子育て支援課の所管事業「放課後児童クラブ」との関係について連携して取り組めないかどうか。 いづれにしても、地域で子ども達に関わり、育てる青少年育成事業を公民館事業の柱とする必要がある。	
H24 対応方針	①放課後子ども教室推進事業に対する地域ボランティアの増及び各教室間の地域を越えた交流事業の促進を図り、子ども達、大人の交流を深める。また放課後児童クラブとの連携も検討する。 ②体験活動及び地域に残る文化、歴史の伝承等の学習の積極的な推進を図る。	

13. 交流、学習の場として気軽に、楽しく集える公民館管理運営

目指すところ	館内の清掃美化及びロビーなどの有効活用	
施策の自己評価	①館内の清掃、美化への取組み	B
	②ロビー展の実施	B
H23 成果	<p>①館内の清掃、美化への取組み。 3館とも少ない職員であるが、日を決めて定期的に館内を見回り、清掃に努めた。特に玄関正面ロビー等に花を飾ることに心がけている。</p> <p>②館内ロビー展の実施。 中央公民館ロビー展の実施 8回 中央公民館泊分館ロビー展の実施 2回 計10回</p>	
H23 課題	<p>①中央公民館及び泊分館の施設の老朽化。</p> <p>②羽合分館の施設の構造上、ロビー展の実施が困難。</p>	
H24 対応方針	<p>①今後予算上の問題もあるので、必要最小限度の範囲で修繕等を行い、できる限り職員の手で実施できるところは館内の清掃、美化に引き続き努める。</p> <p>②羽合分館での作品展示(ミニ展示)活動が何らかの形でできないものか検討したい。</p>	

14. 生涯学習の拠点施設として学習環境の充実

目指すところ	町民の文化と教養の向上を支援するため、利用しやすく、頼りがいのある図書館運営を目指す。	
施策の自己評価	①広報活動	A
	②絵本の読み聞かせ会等各種行事の実施	A
	③学習相談	A
	④ブックスタートへの協力	A
H23 成果	<p>①広報ゆりはま（本の広場）に毎月記事を掲載、新着図書情報を毎月2回発行、ホームページで各種情報の発信、ケーブルテレビでの情報発信などを行い、貸出冊数の増につなげることができた。</p> <p>②おはなし会11回、講演会2回、演奏会3回、作品展4回、リサイクル市2回など積極的に行事を実施し、図書館及び読書に対する関心を深めることができた。</p> <p>③利用者の調べものや探しものに積極的に対応し、図書館サービスの充実に資することができた。</p> <p>④子育て支援課の事業であるブックスタートに協力し、図書館の周知や読書のきっかけづくりに資することができた。</p> <p>その他、生活や仕事に役立つ図書を中心とした特集コーナーを設けるなど各取組みを積極的に行なった結果、貸出冊数、予約件数、リクエスト件数の前年度比増につなげることができた。</p> <p>【利用等実績】</p> <p>個人貸出冊数 141,558 冊（H22 年度：137,340 冊）</p> <p>延べ貸出利用者数 38,480 人（H22 年度：39,261 人）</p> <p>予約・リクエスト件数 23,696 件（H22 年度：22,514 件）</p> <p>内訳</p> <p>（図書館分）</p> <p>個人貸出冊数 80,337 冊（H22 年度：69,628 冊）</p> <p>延べ貸出利用者数 20,369 人（H22 年度：18,436 人）</p> <p>予約・リクエスト件数 12,070 件（H22 年度：11,171 件）</p> <p>（羽合図書室分）</p> <p>個人貸出冊数 42,816 冊（H22 年度：41,353 冊）</p>	

	<p>延べ貸出利用者数 12,667 人 (H22 年度: 12,794 人)</p> <p>予約・リクエスト件数 10,713 件 (H22 年度: 9,095 件)</p> <p>(しおさいプラザとまり分)</p> <p>個人貸出冊数 18,405 冊 (H22 年度: 26,359 冊)</p> <p>延べ貸出利用者数 5,444 人 (H22 年度: 8,031 人)</p> <p>予約・リクエスト件数 913 件 (H22 年度: 2,248 件)</p>
H 23 課 題	<p>合併直後の H16 の貸出利用者数は延べ約 31 千人であったのに対し、H23 は約 38 千人と大きく増加しているが、前年度に対して僅かではあるが減となった。</p>
H24 対応方針	<p>一人でも多くの町民に利用していただくよう広報活動等の一層の充実を図って行くとともに、今後も貸出冊数、延べ貸出利用者数の増に向けて、各施策の一層の充実を図っていく。特に、しおさいプラザについては、本館からの協力本の充実やおはなし会などのイベントを実施したい。</p>

15. 湯梨浜町体育協会事業

目指すところ	湯梨浜町民の体育愛好の精神を培うとともに、体育の振興と体力技能の向上を図り一致協力、湯梨浜町の発展に貢献することを目的とする。	
施策の自己評価	①体育運動の宣伝、啓発指導、奨励を図る。	B
	②体育大会、講習会、その他体育運動に関する各種事業の実施及び援助をする。	B
	③各種競技会に代表選手を派遣する。	A
	④体育運動に関する研究調査をする。	C
	⑤社会体育、スポーツ発展のため功績のあった者に対し、別に定める規定に基づき表彰を行う。	A
H23 成果	<p>②</p> <p>◇各種町民大会について各競技部が主体となって取り組んだことからスムーズな大会運営ができた。</p> <p>◇各競技部の活動支援を行うことにより、積極的に郡民体育大会をはじめとした各種大会に参加することができ好成績を収めることができた。結果、町体育協会の表彰対象者が多くなった。</p>	
H23 課題	<p>①スポーツの普及を図るため、競技スポーツだけでなく健康スポーツの実施者の底辺を広げる取組みがない。</p> <p>②競技によっては固定化された一部の参加者になりがちである。</p> <p>①②他課との連携がない。</p>	
H24 対応方針	<p>①体育運動の宣伝、啓発指導のためHP、町報等を活用していく。</p> <p>②他課との連携による健康・スポーツ教室を実施。併せてスポーツ推進委員によるニュースポーツ普及活動を各集落において実施するとともに『町民一スポーツの日』を設定し、全町民が何かのスポーツに取り組むを実施する。</p>	

16. 東郷運動公園指定管理事業

目指すところ	<p>スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実を図り、町民の健全な心身の育成を目指すとともに、町外、県外の利用者に本町施設の魅力をアピールする。また、民間業者の指定管理により、独自の視点から施設の魅力を最大限に活用し、利用者の増加を図る。</p>																
施策の自己評価	本町施設の魅力をアピールし利用増加を図る	A															
H23 成果	<p>平成22年4月1日から平成25年3月31日まで(株)チュウブによる指定管理を実施。</p> <p>※利用状況(23年度・年間延べ人数)</p> <table border="0"> <tr> <td>野球場</td> <td>6,135人</td> <td>(前年比 202人減)</td> </tr> <tr> <td>多目的広場</td> <td>22,917人</td> <td>(前年比 11,301人増)</td> </tr> <tr> <td>テニスコート</td> <td>2,710人</td> <td>(前年比 861人増)</td> </tr> <tr> <td>フットサル場</td> <td>7,850人</td> <td>(前年比 5,584人増)</td> </tr> <tr> <td>公園利用・観戦者</td> <td>約12,500人</td> <td>(前年比約6,500人増)</td> </tr> </table> <p>多目的広場・フットサル場の人工芝整備やガイナーレの練習場、合宿や中国大会規模の大会誘致もあり、利用者・観戦者、公園利用者も含め利用者が年々増加していることからスポーツ・レクリエーション施設としての認知度を高めることができた。</p>		野球場	6,135人	(前年比 202人減)	多目的広場	22,917人	(前年比 11,301人増)	テニスコート	2,710人	(前年比 861人増)	フットサル場	7,850人	(前年比 5,584人増)	公園利用・観戦者	約12,500人	(前年比約6,500人増)
野球場	6,135人	(前年比 202人減)															
多目的広場	22,917人	(前年比 11,301人増)															
テニスコート	2,710人	(前年比 861人増)															
フットサル場	7,850人	(前年比 5,584人増)															
公園利用・観戦者	約12,500人	(前年比約6,500人増)															
H23 課題	<p>○施設が充実し、大会利用や一般利用者が増加したことにより駐車場が不足する事態が発生していること。</p> <p>○多目的広場について、県内外の大会利用が増え一般利用が制限されていること。</p>																
H24 対応方針	<p>これまでどおり、県内外に施設の魅力をアピールし利用者の増加を目指すとともに幅広く利用者に施設提供ができるように調整を図りながらスポーツ振興を推進していくことが必要である。</p> <p>また、施設の経年劣化はまぬがれないため費用対効果の高い修繕、駐車場の増設等、施設整備を見極め適切な管理を行いたい。</p>																

17. 湯梨浜町スポーツ推進委員連絡協議会事業

<p>目指すところ</p>	<p>町民の健全な心身の育成を目指し、町民一人1スポーツを目標としてそれを推進する指導者・リーダーとして地域・団体へのスポーツ指導を行いスポーツ振興を図る。</p>	
<p>施策の 自己評価</p>	<p>町民一人1スポーツ</p>	<p>B</p>
<p>H23 成果</p>	<p>○スポーツ教室（通年） 地域、団体など合わせて12回のスポーツ教室（ニュースポーツ）を開催し、約350人の参加があった。 小学校親子会7回（ペタンク、ドッジビーなど） 公民館活動3回（ペタンク、スカットボール、キンボールなど） その他団体2回（食生活改善推進員・ニュースポーツ指導）</p> <p>○各種行事にも積極的に協力し、大会運営・指導等にたずさわり活動してきた。 第23回記念グラウンド・ゴルフ発祥地大会 東郷湖ドラゴンカヌー大会 新春みんなでかけろう会 湯梨浜町ビーチバレーボール大会 ナイトハイク</p> <p>○研修会・研究大会へ参加し指導知識を高めスポーツ振興を図っている。</p> <p>○定例会（通年） 月例で会議を開催し、事業計画について検討した。</p> <p>教室開催回数の増により参加人員の増につながったことからニュースポーツの普及に努めることができた。 また、町内開催の体育行事に多数関わり、本委員の存在意義をアピールするとともに町民のスポーツへの関心を高める一助となることができた。</p>	
<p>H23 課題</p>	<p>地域・各団体活動への助手・指導的な活動が主となっていて、スポーツ推進委員が主となりスポーツ振興を図る活動が不足している。</p>	

H24 対応方針	定例会において普及部を中心に事業計画を立て実施に向けて取り組む。
----------	----------------------------------

18. あらゆる差別の撤廃と人間性を育む人権・同和教育事業

目指すところ	部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすためさまざまな人権課題について住民啓発を行い、人権尊重のまちづくりを目指す。	
施策の自己評価	①人権コンサートの実施	A
	②同和教育推進大会の実施	A
	③部落問題懇談会の実施	A
	④住民意識調査及びあらゆる差別をなくす総合計画改訂	C
H23 成果	<p>①②人権コンサート、同和教育推進大会では、県外講師を招いて講演を実施。いずれも部落差別、人権に対する思い、願いが参加者の心に響き、人権問題に対する正しい認識を持つことを学ぶことができた。(①参加者：355名、②参加者：348名 ①②満足度100%)</p> <p>③部落問題懇談会では、さまざまな人権課題をテーマとして設定し町内6会場で実施した。(③参加者延数：563人)</p> <p>毎回実施したアンケートにおいて理解度が平均して90%あることから差別解消に向けて正しい認識を持つことができた。</p> <p>④住民意識調査を町内在住の1600人を対象に実施し(回収率90%)、今後の啓発・推進の取り組みに向けて資料収集ができた。</p>	
H23 課題	<p>①～③</p> <p>◇部落差別をはじめとする人権問題の早期解消に向けて、一人ひとりが自主的・主体的となって行動する力を高めていく研修が必要。</p> <p>◇各種研修会等への参加者が固定化している。</p> <p>④住民意識調査結果(H24.3月実施)の集計、分析、考察の集約が遅れたため、あらゆる差別をなくす総合計画改訂及び実施計画の取り組みが遅れた。</p>	
H24 対応方針	<p>①～③</p> <p>◇参加者増を図るため講演会等の名称や内容及び開催案内の広報の方法について検討し、実施結果を積極的に情報発信する。</p> <p>◇さまざまな視点からのアプローチを考えた事業等を企画し、ワークショップ等の参加型学習を実施する。</p> <p>④住民意識調査結果から見えてきた課題を整理・検討し、関係機関と連携を図り、町民ニーズに合った啓発及び推進を行うための取り組みをあらゆる場面で実施する。</p> <p>(意識調査5月分析完了、総合計画改訂6月完了、実施計画7月完了)</p>	

委員会議及び教育委員の活動

湯梨浜町教育委員会委員

(H24. 4. 1 現在)

職名	氏名	就任年月日	任期	保護者
委員長	前田 三郎	H20. 12. 25	H24. 12. 24	
同職務代理者	熊坂かつ枝	H23. 12. 25	H27. 12. 24	
委員	櫻井 俊子	H21. 12. 25	H25. 12. 24	○
委員	中川 裕章	H22. 12. 25	H26. 12. 24	
教育長	土海 孝治	H21. 7. 29	H24. 12. 24	

○委員の異動

平成23年12月24日に任期満了となった熊坂委員が、同年12月25日に引き続き任命されました。

教育委員会議・教育委員の活動実績等について

平成23年度につきましては、教育委員会議は毎月の定例会の中で教育委員会規則等の一部改正、要保護・準要保護児童生徒の認定、社会教育委員などの委嘱のほか8月、3月に臨時会を開催しました。また、8月には鳥取県中部子ども支援センターで、再登校をめざし指導に当たっている指導者や学校へ復帰するために学習している子どもたちの様子を視察しました。

《1》 教育委員会議の平成23年度開催実績

教育委員会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しております。

教育委員会の開催状況（平成23年4月～平成24年3月）

年月日	会議名	議案番号	議案件名等
23. 4. 19	第5回定例会	26	専決処分の承認を求めることについて（湯梨浜町教育相談員の設置に関する要綱の一部を改正する訓令）
		27	専決処分の承認を求めることについて（学校医及び園医の委嘱）
		28	専決処分の承認を求めることについて（学校評議員及び幼稚園評議員の委嘱）
		29	専決処分の承認を求めることについて（社会教育委員の委嘱）

		30	専決処分の承認を求めることについて（体育指導委員の委嘱）
		31	湯梨浜町教育委員会事務局組織等に関する規則の一部を改正する規則について
		32	平成23年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育長の報告4件、協議事項1件、報告連絡事項2件、その他
23.5.27	第6回定例会	33	専決処分の承認を求めることについて（体育指導委員の任命）
		34	平成22年度教育行政の点検及び評価に係る報告書について
		35	平成23年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育長の報告3件、報告連絡事項5件、その他
23.6.24	第7回定例会	36	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度湯梨浜町一般会計補正予算（第2号））
		37	専決処分の承認を求めることについて（教育委員会職員の任命）
		38	平成23年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育長の報告2件、報告連絡事項3件、その他
23.7.22	第8回定例会	39	外国語指導助手の任命について
		40	平成23年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 協議事項1件、報告連絡事項3件、その他
23.8.17	第9回臨時会	41	平成24年度から使用する中学校教科用図書の採択について その他
23.8.26	第10回定例会	42	湯梨浜町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
		43	湯梨浜町教育委員会事務局組織等に関する規則の一部を改正する規則について
		44	湯梨浜町体育指導委員に関する規則の一部を改正する規則について
		45	平成23年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育長の報告2件、報告連絡事項7件、その他
23.9.16	第11回定例会	46	湯梨浜町立こども園の設置及び管理に関する条例の制定について
		47	湯梨浜町立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
		48	湯梨浜町立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例について
		49	平成23年度湯梨浜町一般会計補正予算（第3号）について
		50	財産（土地・建物）の貸付について
		51	平成23年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育長の報告1件、報告連絡事項4件、その他
23.10.14	第12回定例会	52	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度湯梨浜町一般会計補正予算（第4号））

		53	湯梨浜町立こども園の管理運営に関する規則の制定について
		54	湯梨浜町立保育所の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則について
		55	湯梨浜町立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について
		56	湯梨浜町緊急預かり保育事業に関する規則の制定について
		57	湯梨浜町立幼稚園保育料減免規則を廃止する規則の制定について
		58	湯梨浜町延長保育事業実施要綱の一部を改正する告示について
			教育長の報告3件、報告連絡事項7件、その他
23.11.25	第13回定例会	59	平成23年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			教育長の報告3件、報告連絡事項4件、その他
23.12.26	第14回定例会	60	湯梨浜町教育委員会委員長職務代理者の指定について
		61	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度湯梨浜町一般会計補正予算（第6号））
			教育長の報告2件、報告連絡事項4件、その他
24.1.27	第1回定例会	1	湯梨浜町教育委員会及び教育機関公印規則の一部を改正する規則について
		2	湯梨浜町教育委員会の職場におけるセクシュアル・ハラスメントの防止に関する要綱の一部を改正する訓令について
		3	湯梨浜町立小学校、中学校及び幼稚園学校評議員運営規程の一部を改正する訓令について
			教育長の報告2件、報告連絡事項3件、その他
24.2.24	第2回定例会	4	平成23年度湯梨浜町一般会計補正予算（第8号）について
		5	平成24年度湯梨浜町一般会計当初予算について
		6	湯梨浜町小学校、中学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例について
		7	湯梨浜町立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について
		8	湯梨浜町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費交付要綱の一部を改正する訓令について
		9	財産（土地・建物）の貸付について
		10	教育財産の用途廃止について
		11	平成24年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
			教育長の報告3件、協議事項1件、報告連絡事項3件、その他
24.3.15	第3回臨時会	12	平成24年度県費負担教職員の人事内申について
			その他
24.3.23	第4回定例会	13	専決処分の承認を求めることについて（教育委員会職員の異動）
		14	教育委員会及びその他の教育機関の職員の任免等について

		15	湯梨浜町人権教育推進員の任命について
		16	湯梨浜町地区公民館長及び主事の職を解くことについて
		17	湯梨浜町地区公民館長及び主事の任命について
		18	平成24年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
			教育長の報告6件、報告連絡事項6件、その他

※定例会、臨時会を含めて14回、54議案を審議決定した。

《2》 教育委員の活動実績

教育委員の活動としては、町内幼・小・中学校への計画訪問（学校訪問）、各種社会教育事業への参加、県内並びに中部地区各教育委員会で合同の研修会も行っております。

《教育委員の活動状況（平成23年4月～平成24年3月）》

計画訪問（保幼学校訪問）

年月日	学校名等	協議内容等
23.6.7	東郷小学校B	1 授業参観（2・3校時） 2 校長説明・委員質疑
23.6.14	東郷中学校B	1 授業参観（3・4校時） 2 校長説明・委員質疑
23.6.27	羽合小学校A	1 授業参観（5・6校時） 2 校長説明・委員質疑 3 意見交換会
23.6.29	北溟中学校A	1 授業参観（5・6校時） 2 校長説明・委員質疑 3 意見交換会
23.6.30	泊小学校A	1 授業参観（5校時） 2 校長説明・委員質疑 3 意見交換会
23.7.13	松崎幼稚園	1 保育参観 2 園長説明等
23.7.15	羽合幼稚園	1 保育参観 2 園長説明等
23.7.22	橋津保育所	1 保育参観 2 所長説明等
23.8.10	東郷保育所	1 保育参観 2 所長説明等
23.9.7	花見保育所	1 保育参観 2 所長説明等

23.9.13	あさひ保育所	1 保育参観 2 所長説明等
23.9.30	わかば保育所	1 保育参観 2 所長説明等
23.10.4	浅津保育所	1 保育参観 2 所長説明等
23.10.27	田後保育所	1 保育参観 2 所長説明等
23.11.8	北溟中学校B	1 授業参観(2・3校時) 2 校長説明・委員質疑
23.11.16	長瀬保育所	1 保育参観 2 所長説明等
23.11.17	太養保育園	1 保育参観 2 園長説明等
23.11.18	東郷中学校A	1 授業参観(5・6校時) 2 意見交換会
23.11.22	泊小学校B	1 授業参観(3限) 2 説明・協議
23.11.28	羽合小学校B	1 授業参観(2・4校時) 2 校長説明・委員質疑
	東郷小学校A	1 授業参観(5・6校時) 2 意見交換会

その他の教育委員活動

年月日	場所等	研修内容等
23.4.4	役場講堂	転入教職員着任式
23.4.4	各幼稚園	入園式
23.4.8	各小中学校	入学式
23.6.11	潮風の丘とまり	第23回グラウンド・ゴルフ発祥地大会開会式(委員長が実行委員)
23.6.26	ハワイアロハホール	人権コンサート(町民の集い)
23.7.8	倉吉市	平成23年度鳥取県市町村教育委員会研究協議会定期総会等
23.7.9	羽合小学校	第56回東伯郡民体育大会湯梨浜町選手団結団式
23.7.24	湯梨浜町ほか郡内	第57回東伯郡民体育大会開会式、各競技会場激励廻り
23.7.28~29	倉吉市	第8回中国地区市町村教育委員会連合会研修会
23.8.3~4	倉吉市他	第36回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会

23. 8. 24	倉吉市	平成 23 年度市町村（学校組合）教育委員会教育委員研修会
23. 10. 23	ハワイロハホール	湯梨浜町同和教育推進大会
24. 1. 3	ハワイロハホール	湯梨浜町成人式
24. 3. 9	各中学校	卒業式
24. 3. 19	各小学校	卒業式